未来へつなぐ公共交通



誰もが移動しやすいまちづくりには、鉄道、バス、タクシーなどの公共交通が必要です。
今、自動車で移動している人も、地域の足を未来につなぐため、一緒に考えてみましょう。
【問】交通政策課☎626-7519

利用しないと…

1. 利用者が減る
2. 収入が減る
3. サービスが縮小する
4. さらに利用者が減る
5. 将来、公共交通がなくなるかも

公共交通がピンチ!?

皆さんは、いま、公共交通を使っていますか？
鉄道、バス、タクシーの利用者は、ここ数年減少が続き、交通事業者を取り巻く環境は非常に厳しい状況です。**利用者が減る**と、路線の**減便や廃止**などにより、公共交通が不便になります。その悪循環で将来的に公共交通がなくなるかもしれません。

10年後も乗るために

普段は自動車などで移動する人も、公共交通を今よりも利用することで、交通事業者の経営が安定し、サービスの維持につながり、**今ある公共交通を未来につなぐ**ことができます。
10年後も乗るために、「いつか乗ろう」ではなく「**いま乗る**」ことが大切です。

利用すると…

1. 利用者が増える
2. 収入が増える
3. サービスを維持・充実できる
4. さらに利用しやすくなる
5. 未来へつながる公共交通

鉄道・バスが不便な地域でも

盛岡市の鉄道・バスのカバー率
(令和6年4月時点)

利用圏内※ 77.4パーセント（22万4043人）

利用圏外 22.6パーセント（6万5426人）

※鉄道駅800メートル圏、バス停300メートル圏

市内の約77パーセントの人が鉄道駅やバス停から徒歩で利用可能な場所に住んでいます。
鉄道やバスの利用が不便な地域でも、地域と一緒に地域に合った交通の導入を考える取り組みを始めています。

利用圏外にお住まいの方に向けた取り組み

もりもりGO

地域公共交通計画に基づき、路線バスを再編した飯岡地区の一部で予約型乗合タクシー「もりもりGO（ゴー）」の試験運行を実施しています。ご利用可能な地域の人はぜひご利用ください。

コミュニティ交通サポート補助金

地域住民などが主体となって地域で移動手段を確保するための経費の一部を補助します。困っているけどどうしたら良いか分からない、という場合も地域にとって何が必要なのか地域と一緒に考えます。

地域もがんばっています

大ケ生おでかけ便は、地域と近隣のスーパーや病院などを結ぶコミュニティ交通です。週1回程度ボランティアで運行しています。車内では利用者同士の会話が弾み、地域交流の場にもなっています。
運営費の確保が課題でしたが、コミュニティ交通サポート補助金を活用できることになりました。これからも地域の皆さんの大切な移動手段として運行を続けていきたいです。



大ケ生おでかけ便の利用者と運営する地域住民。手前右から３番目が代表の池内 絵美さん

みんなで支えよう、地域の足

一人一人が公共交通を利用することで、公共交通を未来につなぐことができます。皆さんが便利で快適に利用できるように交通事業者もさまざまな取り組みをしていますので、利用してみましょう。



バスに乗ってみよう!

「バスの乗り方が分からない」「ICカードってどう使うの？」と初めてバスに乗るときは不安に感じることも…。
県バス協会では、バスの乗り方・降り方、運賃の支払い方を紹介する動画を公開しています。ぜひご覧ください。



YouTube

「でんでんむし」でまちなかをお散歩

中心市街地を走る「でんでんむし」で盛岡のまちをゆっくり楽しもう！ルートが分かりやすい循環バスなので地理に不安な人も安心！
どこまで乗っても150円（こども80円）です。

でんでんむし



快適に移動

最近見かける電気バスは振動が少なく、とても静か。
さらに車内にUSBポートが設置されているので、充電しながら快適に移動できます。





みんなの利用が
公共交通を未来につなぐ

いまどこ?がわかる

スマートフォンやパソコンからバスや列車の現在地などの運行情報を確認できます。これで待ち時間も心配なし！

パスロケーションシステム
JR東日本運行情報 どこトレ
IGRリアルタイム運行情報

最近はバスの快適性が向上していると感じています。
運転士も安全を第一に、お客様に快適に乗っていただけるように心がけています。
ぜひ、たくさん利用していただきたいですし、私たちと一緒に運転士として公共交通を支える仲間も募集しています。



岩手県交通㈱ 樋口 潤さん

キャッシュレスで便利!

キャッシュレス決済で利用できる交通が増えています。切符も小銭も不要で、簡単決済。支払いをスムーズに、公共交通をスマートに乗りこなそう！



私たちも盛り上げています!



私たちは岩手大のサークル「山田線・花輪線つながり応援隊」です。
JRローカル線を盛り上げるため、駅を飾り付けるイベントなどを開催しています。冬にもイベントを開催予定です。詳しくは、Instagram（インスタグラム）でお知らせする予定ですので、ぜひご覧ください。

IWATELOCALOFFICIAL

市長コラム

誰もが安心して移動できるまちづくりに、公共交通は欠かせません。
買い物や通院、通勤・通学など、日々の暮らしを支える大切な移動手段である公共交通は、同時に未来への投資でもあると考えています。
例えば、高齢者が気軽に外出し、人と会い、まちを歩く。そうした機会が増えることは、健康づくりや生きがいにもつながります。また、多くの人がまちに出ることは、地域のにぎわいや経済を支えることにもつながります。
普段利用する機会のない人も、バスや鉄道を利用してみませんか。
一人一人が公共交通を利用することが、地域の足を守り、誰もが安心して暮らし続けられる盛岡の未来につながっていきます。

盛岡市長 内舘 茂

